

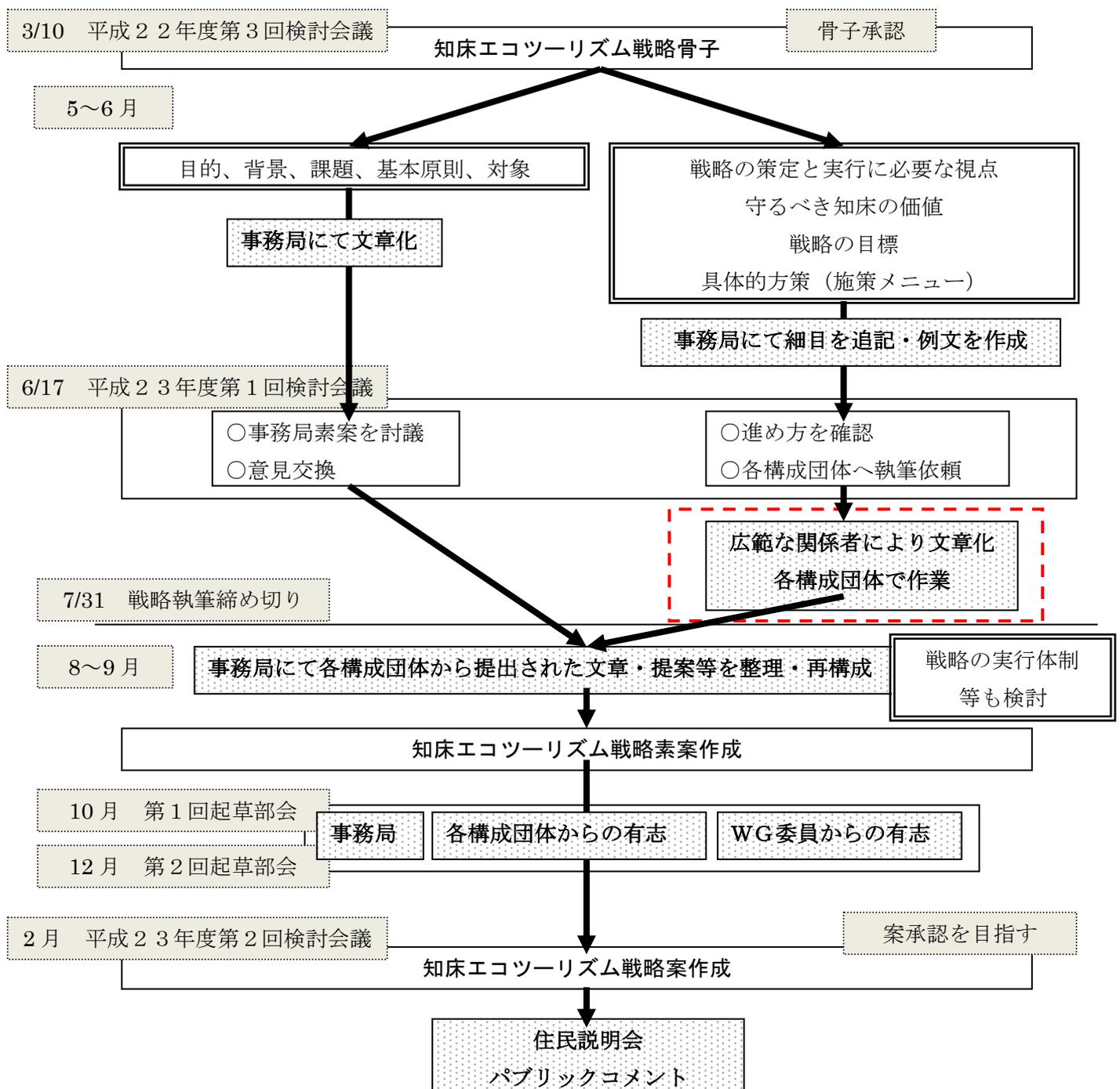
知床エコツーリズム戦略作成マニュアル

1. このマニュアルは

このマニュアルは、利用適正・エコツーリズム検討会議にて策定する知床エコツーリズム戦略を知床世界自然遺産地域に関わるより広範な者と連携・協働で作上げるための手順を示すためのものである。

2. 戦略づくりのスケジュール

知床エコツーリズム戦略は次の行程で進める。



3. 各構成団体での文章化作業（6/17～7/31）の実施法

（1）文章化作業のねらい

- 知床エコツーリズム戦略は、知床世界自然遺産地域内のすべてのツーリズムを対象に、遺産地域に関わる者にとっての共通の将来目標とそれに至る方法の共有化を図るために策定するものである。
- 検討会議構成員が戦略の起草に参加し、広範な主体参加による戦略策定を目指す
これまでの検討会議において議論が進んだ項目については、事務局での文章化を進め、今後具体的な実行方針に直結する部分についてのアイデア・文章の素材を検討会議構成員より集める。

（2）文章化作業の方法

- 文章化作業は、各々の構成団体・その構成員が、今後の知床世界遺産地域におけるエコツーリズム、観光利用の将来像を描き、それに向けたあるべき姿（遺産の価値やその価値の利用と保全の仕方、各構成団体の役割とその恩恵のあり方など）に関し、骨子の次の項目に留意して記述を行う。事務局素案の青字文章は例文であり、これを参考に
してよい。

骨子項目 6（2） 基本方針－戦略策定と実行に当たって必要な視点

骨子項目 8 守るべき知床の価値

骨子項目 9 目標（できるだけ検証可能な目標設定が望ましい）

骨子項目 10 具体的方策

（施策メニュー：公的機関の施策のみならず、民間事業の施策も記述）

（3）文章化作業のルール

- 構成団体での作成、構成団体に所属する個人での作成ともにOK
- 匿名での提出は認めない
- 文章に著作権を主張しない（文章構成・フレーズ・表現等への事務局・起草部会・検討会議でのアレンジを認める）
- 箇条書きでの提出もかまわない（無理に文章として整えなくてもよい）

（4）文章化作業支援

- 各構成団体は、文章化作業の着手時、各団体内での意見集約時などに、検討会議事務局から支援スタッフを招くことができる。
- 支援スタッフは、作業手順の説明やアドバイスをを行い、各構成団体内での文章化作業を支援する。